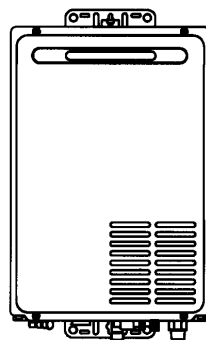


ガス給湯器

133-P400型

型式名：PH-16QLX(42)



もくじ

はじめに

特長／各部のなまえ	1
必ずお守りください	4
準備と確認	10

使いかた

お湯の出しかた	10
---------	----

リモコン138-P001／138-P003 の使いかた

お湯の出しかた	11
台所リモコンの 「湯はりコール」の使いかた	13

リモコン138-P002／138-P004 の使いかた

お湯の出しかた	15
お湯はり中の お湯を自動で停止させる	17

便利な機能のあれこれ

呼び出すには	19
操作確認音の音量調節のしかた	19

上手に使うって長持ちさせるには

点検とお手入れ	20
故障かな？と思ったら	21
凍結を防ぐには	23

仕様／アフターサービス

仕様	25
保管とアフターサービス	26

取扱説明書

このたびは、ガス給湯器をお買い上げいただきありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、もよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

特 長

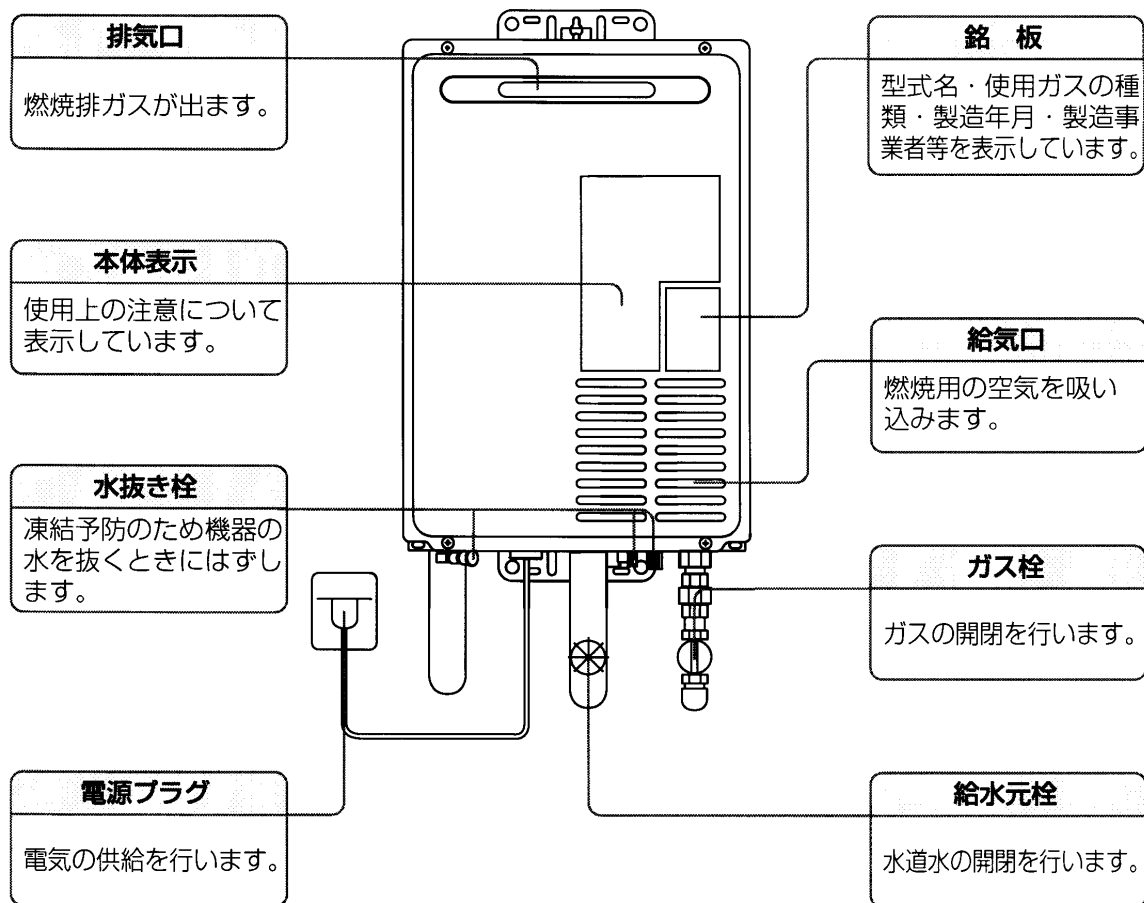
● 別売リモコン138-P001／138-P003をご使用の場合

- お好みの湯温調節が可能です。
- 給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに、ブザーでお知らせします。

● 別売リモコン138-P002／138-P004をご使用の場合

- お好みの湯温調節が可能です。
- お湯はり中の給湯をお好みの湯量に達すると自動停止させます。
- リモコンの操作内容を音声でお知らせするボイス機能付き。どなたでも簡単に操作できます。

各部のなまえ



各部のなまえ（別売リモコン）

台所リモコン 138-P001

燃烧ランプ

給湯燃烧時に点灯します。

表示部

(下図参照)

湯はりコールスイッチ・ 湯はりコールランプ

湯はりコールセット時に押します。湯はりコールスイッチ「入」で点灯します。設定後は点滅します。

優先ランプ

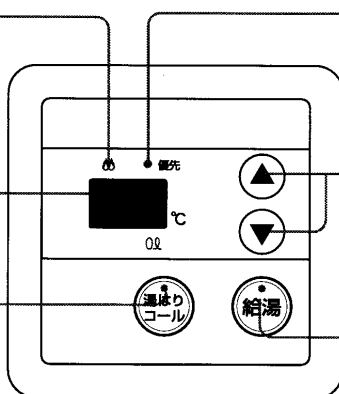
優先ランプが点灯している側のリモコンで湯温調節ができます。

湯温設定スイッチ／湯はり コール湯量設定スイッチ

給湯温度の調節と湯はりコール設定湯量の調節をします。

給湯スイッチ・給湯ランプ

給湯操作をするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。



浴室リモコン 138-P003

燃烧ランプ

給湯燃烧時に点灯します。

優先ランプ

優先ランプが点灯している側のリモコンで湯温調節ができます。

表示部

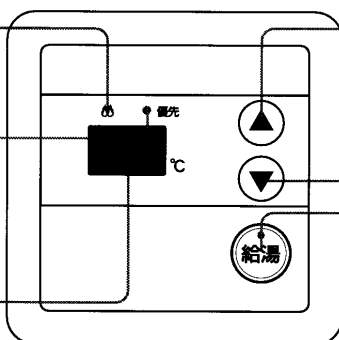
(下図参照)

湯温調節スイッチ

給湯温度の調節をします。

給湯スイッチ・給湯ランプ

給湯操作をするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。



リモコン表示部

給湯設定温度表示

給湯温度のめやすが表示されます。

湯はりコール設定湯量表示 (台所リモコンのみ)

設定湯量のめやすが表示されます。



エラーコード

機器が正常に作動しないときに切り替わります。

湯はりコール湯量表示 (台所リモコンのみ)

湯量表示中に点灯されます。

各部のなまえ（別売リモコン）

台所リモコン 138-P002
浴室リモコン 138-P004

表示部

(下図参照)

呼び出しスイッチ・ 呼び出しランプ

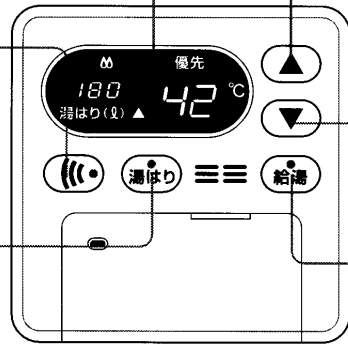
台所と浴室の両方のリモコンをお使いの場合、スイッチを押すと、ブザーが鳴って相手を呼び出します。

湯はりスイッチ・ 湯はりランプ

浴槽にお湯はりするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると湯はりランプが点灯し音声でガイドします。

湯温調節スイッチ

給湯温度の調節をします。



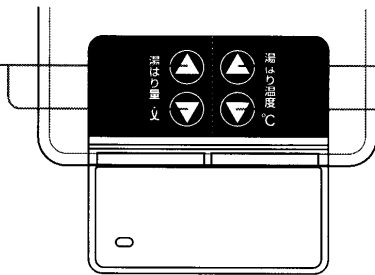
給湯スイッチ・ 給湯ランプ

給湯操作をするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

ふたが開いた状態

湯はり量設定スイッチ

湯はり量を調節します。



湯はり温度設定スイッチ

湯はり温度を調節します。

リモコン表示部

燃焼確認ランプ

燃焼中にランプが点灯します。

湯はり量表示

湯はり設定量を表示します。

表示

湯はり量を表示中に△が点灯します。



優先表示

優先表示が点灯している側のリモコンで給湯湯温調節ができます。

エラーコード

機器が正常に作動しないときに切り替わります。

給湯設定温度表示

給湯温度のめやすが表示されます。
(お湯はり時は、湯はり温度のめやす)を表示します。

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的
な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



発火注意



感電注意



高温注意



必ず行う



電源プラグ
を抜く



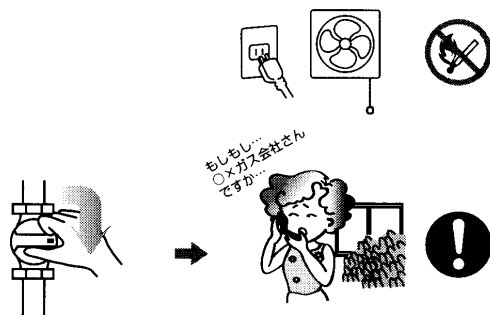
アースを
接続せよ

危険

ガス漏れ時の使用厳禁

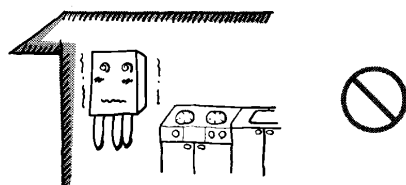
ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

- ①すぐに使用を止め、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる
- ②お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまで連絡する



この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の原因になります。



必ずお守りください

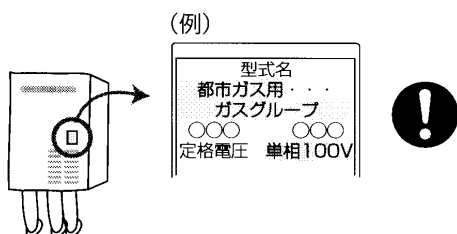
⚠ 警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および使用電源（電圧・周波数）の適合を確認する

表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

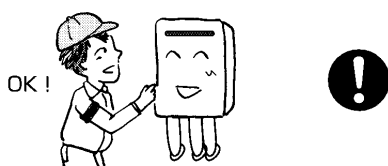
電源はAC100Vを使用する

*わからない場合はお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまでご相談ください。



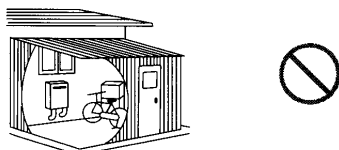
機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動・取外しおよび付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。



設置後、機器を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



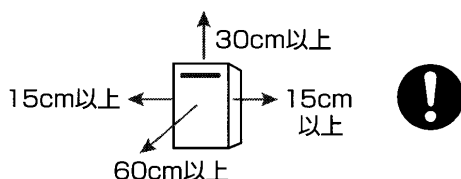
ねじ接続

この機器の接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスに依頼してください。



機器および排気口の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

火災の原因になります。



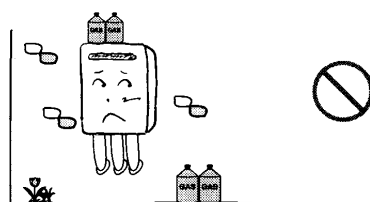
【可燃物との離隔距離】

機器や排気口の周囲にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

機器や排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

引火して火災、やけどのおそれがあります。



⚠ 警告

シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確かめて湯温が安定してから使用する

最初に熱いお湯が出ることもあるため、やけどのおそれがあります。

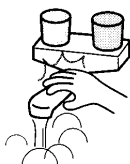


やけどの予防のために出初めのお湯は体にかけない

お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出る場合があります。



給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるのでやけどに注意する



湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

急に行ったり、しぼりすぎると熱いお湯が出る場合があります。また、消火することもあります。



熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す



熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

配管内の熱いお湯がでてしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。



入浴時は浴そうの湯温を手で確かめてから入浴する

やけどのおそれがあります。



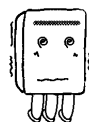
シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。



分解禁止

お客さまご自身では絶対に工具を使用して、分解したり修理・改造は行わないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。



子供を浴室で遊ばせない
浴槽に潜ったりしない

思わぬ事故につながる場合があります。

*特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。



必ずお守りください

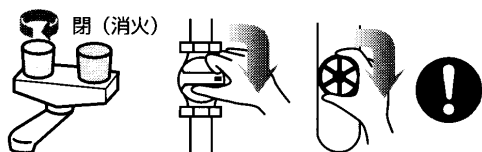
⚠ 警告

異常時の処置

- ①使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」に従い処置する。
- ③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

*再びお使いになる前に必ずお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまで点検を依頼してください。



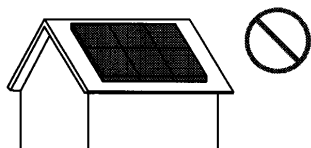
機器本体やガスの接続口などに乗らない

けがや機器の変型によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



この機器をソーラーシステムに接続しない

ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



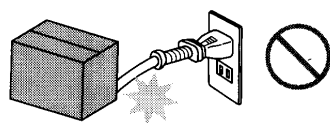
火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

火災の原因になります。



電気コードを加工したり無理な力を加えない

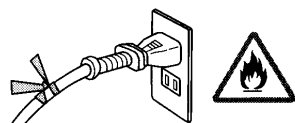
感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。



痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わない

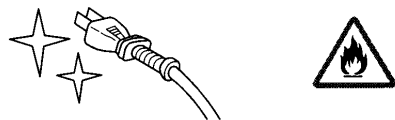
電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



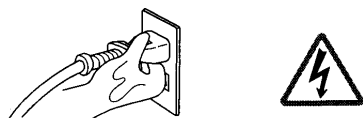
電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



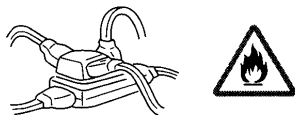
濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。



コンセントや配線器具、たこ足配線などで定格を超える使いかたをしない

発熱による火災の原因となります。



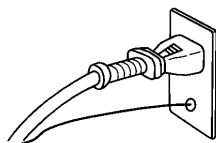
⚠ 注意

電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない

電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。



この機器はアースが必要なのでアースされていることを確認する



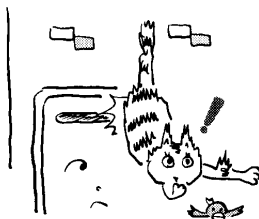
給湯・シャワー以外の用途には使用しない

思わぬ事故の原因になることがあります。



使用中や使用直後は機器本体、排気口とその周辺は高温になっているので、操作部以外は手を触れない

高温になっておりますので、やけどのおそれがあります。



おねがい

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用の用途で使用すると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

■リモコンを使用の場合の注意

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。



■電源について

お手入れの際、長期間使用しない場合および凍結予防のため水抜きを行う時以外は電源プラグを抜かないでください。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

■通水使用の禁止

運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水をだしたり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、寿命が短くなります。

必ずお守りください

おねがい

■雷時の注意

雷が発生し始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(またはブレーカーを落としてください。)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷が止んだ後は、電源プラグを差し込んでください。



■井戸水、地下水、温泉水の使用禁止

水質などによっては機器の破損および水漏れの原因となります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。

■停電・断水のときは

停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。

*断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

再通電後のリモコンの表示は、温度表示は前回使用時に設定の温度に、湯量表示は「180ℓ」になっています。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。

長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■排気口の周囲

排気口からの排ガスなどによって過熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）を置かないでください。

■日常の点検とお手入れ

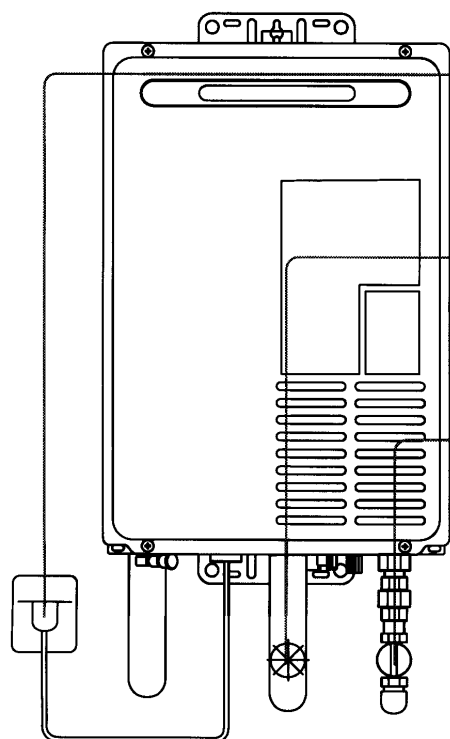
浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。

また、ご使用前や日常の点検の際に次の項目をご確認ください。

- ①機器は屋外に設置してある
 - ②機器は堅固に設置してある
 - ③作業に危険を伴う（ハシゴ掛け、ヤグラ組み立てなどを必要とする）場所に取り付けてない
 - ④機器の周囲に可燃物がない。
 - 洗濯物などの燃えやすいものがない
 - 排気口からの排ガスにより過熱されて困るものがない
 - 棚のしたなど落下物がない
 - ⑤機器の排気口の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない
 - ⑥近隣の家に迷惑にならない場所に設置してある
 - ⑦機器にはガス栓・給水元栓が取り付けられている
 - ⑧凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く等の措置がしてある。
また、水抜き栓は保温材から出ており水抜き操作できるようになっている。
 - ⑨機器を波板などで囲んでいない。
- *以上の設置に関し、ご不明な場合は、販売店もしくはもよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

準備と確認



電源プラグをコンセントに
差し込んでください



給水元栓を全開にしてください
つまみは左に止まるまで回し、
必ず全開で使用してください。



ガス栓を全開にしてください
必ず全開で使用してください。

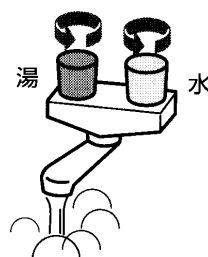


*電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

お湯の出しかた（リモコンがない場合）

給湯栓を開けると約60℃のお湯が出ますので水を混ぜながらお使いください。

- ①混合水栓を水側・お湯側の順で開ける
- ②混合水栓でお好みの湯温に調節する
- ③混合水栓をお湯側・水側の順で閉める



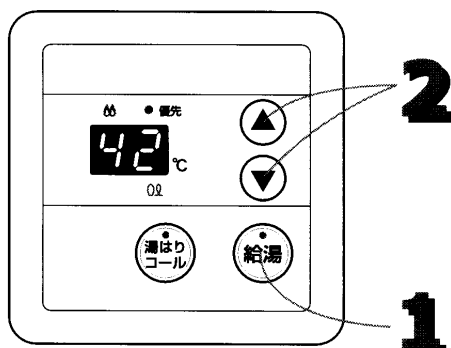
⚠ 警告

開けるときは水側（たっぷり）・お湯側（少しずつ）、閉めるときはお湯側・水側の順に行う
→お湯側だけを開けると高温のお湯が出るので、やけどのおそれがあります。

お湯の出しかた (138-P001/138-P003 リモコンをご使用の場合)



台所リモコンでお湯の出しかたを紹介しますが、
浴室リモコンでも同じ操作方法です。



1 「給湯」スイッチを押す



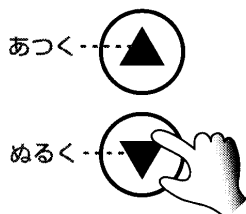
警告

お風呂でお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの給湯スイッチを押して優先にする
→優先にしないと台所リモコンで勝手に温度を変えられてやけどのおそれがあります。

知っておいてね

- 初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
(給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。)
- 給湯栓を絞りすぎると消火します。(給湯栓をもっと開けてご使用ください。)
- 2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によっては、ほとんどお湯が出ないことがあります。
- リモコンを「切」にするときは、「給湯」スイッチを3秒以上押し続けるともう一方のリモコンも「切」にすることができます。

2 温度を調節する

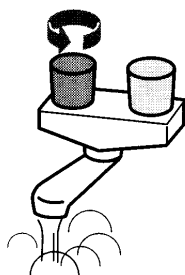


- 38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。
- 設定を記憶します。



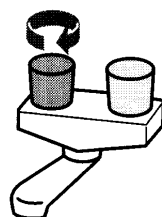
3 給湯栓を開ける

開く



4 給湯栓を閉める

閉める



温度のめやす

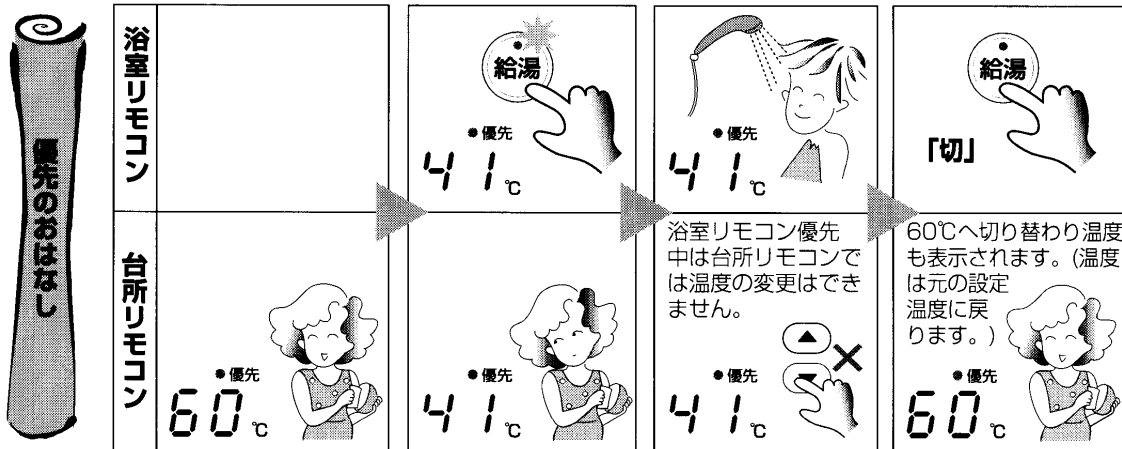
38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

ややぬるめ 適温 ややあつめ あつい

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

お風呂ではいつも快適な入浴が楽しめるように、浴室リモコン優先中は台所リモコンでは勝手に温度が変えられないしくみになっています。

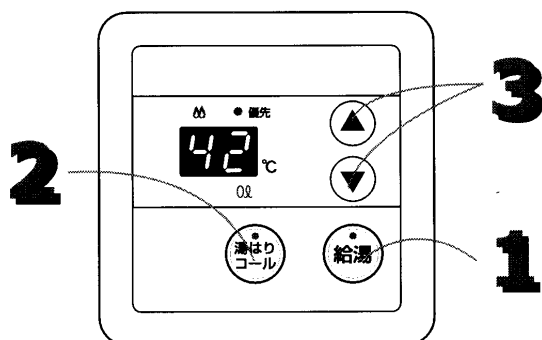
（例）台所リモコンで60℃、浴室リモコンで41℃に設定している場合



台所リモコンの湯はりコールの

湯はりコールはお知らせ機能だけで給湯を自動停止することはできません。

湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに、“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。



1 「給湯」スイッチを押す



42℃
0ℓ

2 「湯はりコール」スイッチを押す

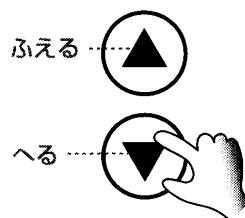


- ピッと鳴り、初期設定の180ℓまたは前回使用時に設定の湯量が表示されます。
- 湯量の表示は10ℓ単位です。

18℃
0ℓ

前回設定の湯量

3 湯量を調節する



- 10～500ℓまで10ℓづつ調節できます。押し続けると連続的に変わります。
- 初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴槽を基準にしています。

39℃
0ℓ

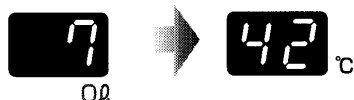
調節後の湯量

知っておいてね

- 「湯はりコール」スイッチを押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われなときは、自動的に初期設定の湯量または前回使用時に設定の湯量でセットされます。
- 湯はりコールはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
- 湯はりコールをセット後、お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。

使いかた (138-P001 リモコンのみ)

残り湯量を知りたいとき



数秒後温度
表示に戻る

湯はりコールを途中で取り消すとき

表示部が温度表示になっている状態で

ピッ・ピッ



4 15秒後、湯はりコールランプが点滅し、温度表示に戻る 【湯はりコールセット完了】



- すぐに湯はりコールをセットさせたい場合はもう1度「湯はりコール」スイッチを押してください。
- 湯はりコールセット完了後、給湯栓を開けてください。



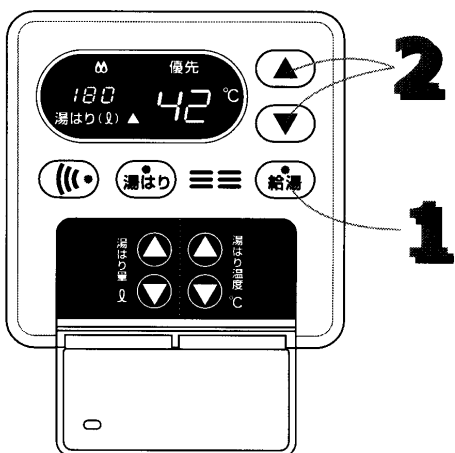
5 設定湯量に達すると、15秒間 “ピピピッ”でお知らせ



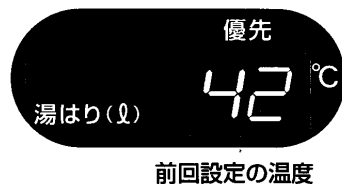
- “ピピピッ”を止めるには「湯はりコール」スイッチを押してください。
- 湯はりコールランプが消灯し、「00」と表示されます。ブザー終了後は温度表示に戻ります。
- 給湯栓を閉めてください。



お湯の出しかた (138-P002/138-P004)



1 「給湯」スイッチを押す

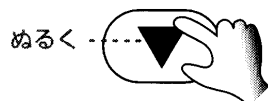
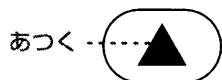


おふろでお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの給湯スイッチを押して優先にする
→優先にしないと台所リモコンで勝手に温度を変えられてやけどのおそれがあります。

[illegible]

- 初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
(給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。)
- 給湯栓を絞りすぎると消火します。(給湯栓をもっと開けてご使用ください。)
- 2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- お湯はかり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によっては、ほとんどお湯が出ないことがあります。
- リモコンを「切」にするときは、「給湯」スイッチを3秒以上押し続けるともう一方のリモコンも「切」にすることができます。

2 温度を調節する



- 38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。
- 設定を記憶します。

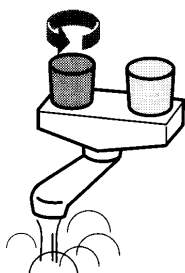
優先表示確認



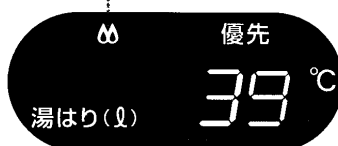
調節後の温度

3 給湯栓を開ける

開く

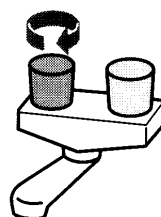


燃焼確認ランプ点灯



4 給湯栓を閉める

閉める



燃焼確認ランプ消灯



温度のめやす

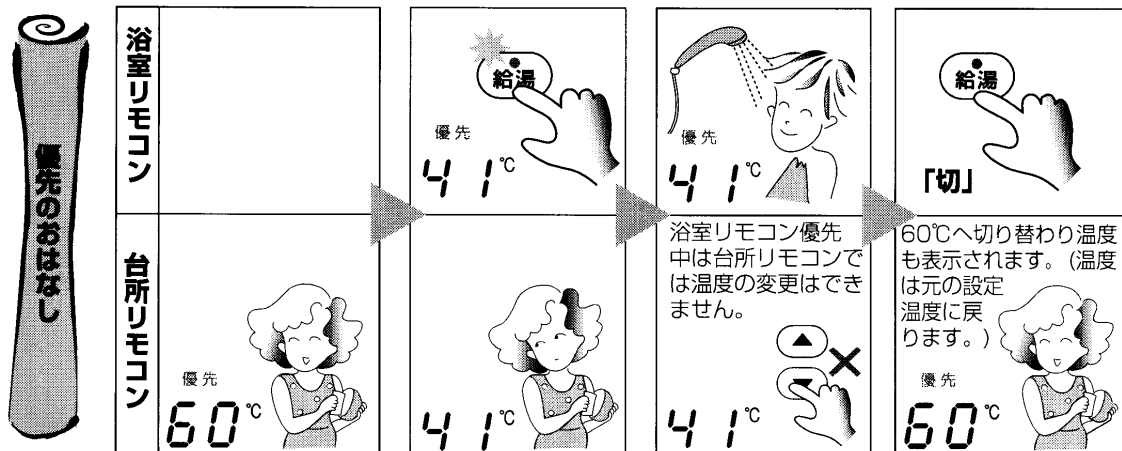
38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

ややぬるめ 適温 ややあつめ あつい

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

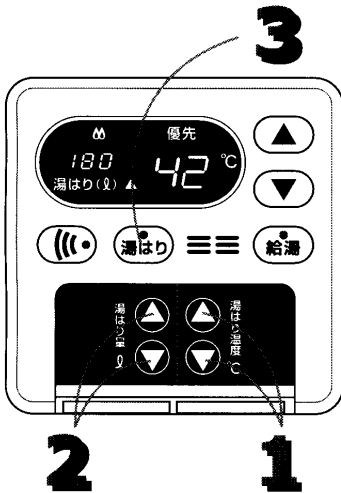
お風呂ではいつも快適な入浴が楽しめるように、浴室リモコン優先中は台所リモコンでは勝手に温度が変えられないしくみになっています。

（例）台所リモコンで60℃、浴室リモコンで41℃に設定している場合

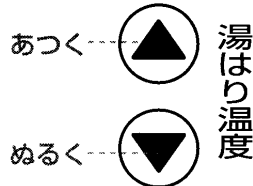


お湯はり中のお湯を自動で停止

〈オート止水機能〉



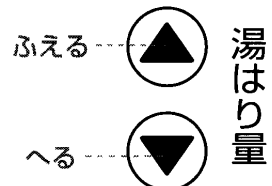
1 湯はり温度を調節する



- 38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
- 設定完了3秒後に消灯します。
- 設定を記憶します。

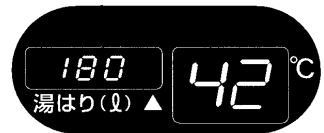


2 湯はり量を調節する



- 10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ、さらに990ℓの調節ができます。
- 初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴そうを基準にしています。
- 設定を記憶します。

前回設定の湯量



お湯はりが最優先のおはなし

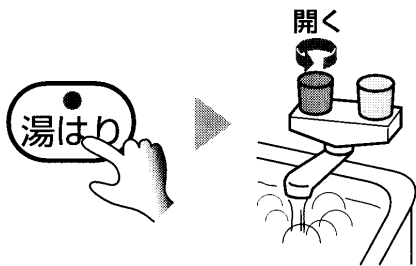
お湯はり中は「湯はり」が最優先されます。お湯はり中に給湯スイッチを押すと、点灯、消灯はしますが、お湯はりを継続します。また、「湯はり温度」以外での給湯温度の変更はできません。

(例) 湯はり温度41℃、台所リモコンの給湯温度を60℃に設定している場合

浴室もしくは 台所リモコン					
		優先 湯はり 41℃	優先 湯はり 41℃	点滅 湯はり 60℃	湯はり 「切」
台所リモコン	優先 60℃	優先 41℃	お湯はり中は湯はり設定温度が優先されますので、給湯温度の変更はできません。 優先 41℃	「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯がとまります。 優先 60℃	優先 60℃

させる (138-P002/138-P004)
リモコンをご使用の場合

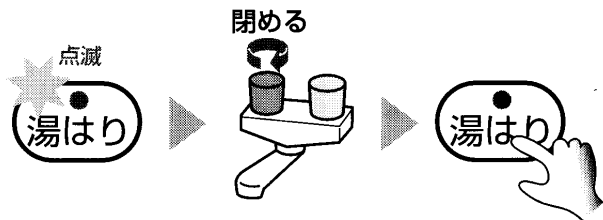
3 「湯はり」スイッチを押してから、給湯栓を開く



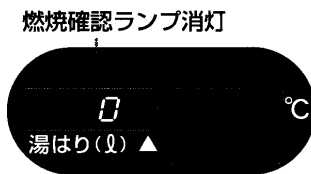
*お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。



4 お湯はり終了のボイスガイドが鳴ったら、 給湯栓を閉めてから「湯はり」スイッチを 押して「切」にする

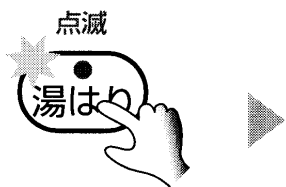


●お湯はりが終了すると、ボイスガイドでお知らせし、湯はりランプが点滅します。給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押してください。

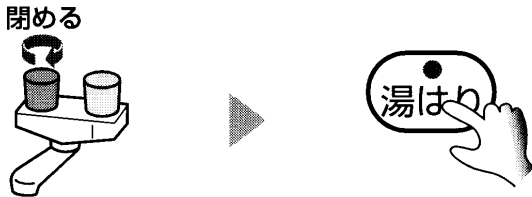


お湯はりを途中でやめたいとき

1 「湯はり」スイッチを押す



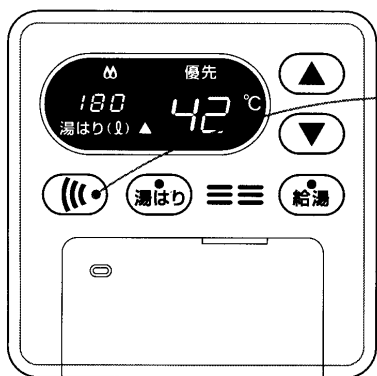
2 給湯栓をしめてから、「湯はり」スイッチを押して「切」にする



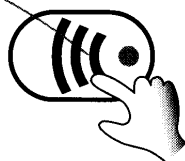
知っておいてね

- 「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯がとまります。
- お湯はりセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
- お湯はり中にすべての給湯栓を閉めた場合、お湯はりは一時的に中断されますが、再び給湯栓を開くと、お湯はりは継続されます。（中断後6時間以内）
- 給湯栓を閉め忘れたまま「湯はり」スイッチを「切」にすると、「給湯」スイッチが「切」の場合は浴槽に給水され、「給湯」スイッチが「入」の場合は浴槽に給湯されます。湯はり解除時は、忘れずに給湯栓を閉めてください。

呼び出すには (138-P002/138-P004 両方のリモコンをご使用の場合)



リモコンのブザーを鳴らして人を呼び出せます。



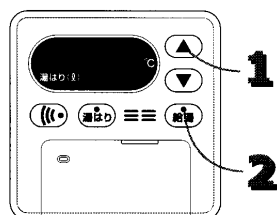
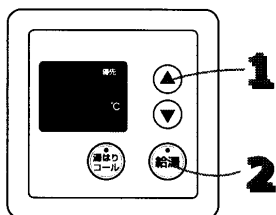
「呼び出し」スイッチを押す

●相手側のリモコンで呼び出しメロディーが流れます。

操作確認音の音量調節のしかた

138-P001/138-P003をお使いのかた

138-P002/138-P004をお使いのかた



はじめに
浴室リモコン、台所リモコンどちらも「切」にする

1 ▲ を押し
ながら、**2** 給湯 を押す

操作するたびに、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。初期設定は「鳴る」に設定されています。

はじめに
浴室リモコン、台所リモコンどちらも「切」にする

1 ▲ を押し
ながら、**2** 給湯 を押す

1、2 を繰り返すたびに
ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「大」
→ボイスガイド「小」＋操作確認音「小」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「小」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「オフ」
→ボイスガイド「大」＋操作確認音「大」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「大」
→ボイスガイド「中」＋操作確認音「中」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「大」…
と切り替わります。(初期設定は、
ボイスガイド「中」＋操作確認音「中」です。)

●●●●● 知っておいてね ●●●●●

- 操作はそれぞれのリモコンで行ってください。
両方同時には変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

点検とお手入れ

おねがい

- 機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは必ず行ってください。そのときは、機器本体とリモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- 「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント

*点検は常時行ってください。

- 機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありますか？
- 外観に異常はありますか？
- 運転中に異常音はありますか？
- 給気口・排気口をふさいでいませんか？

お手入れ

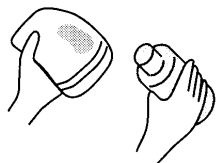
おねがい

- 機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
- 機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
- リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
- 点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

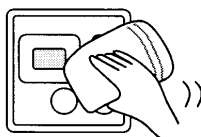
■ 機器外装・リモコン

水気をしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤分と水気を十分ふき取る

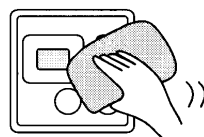
- ①水気をしぼった布に
台所用中性洗剤を含ませ、



- ②軽くふき、



- ③乾いた布で洗剤分と水気を
十分ふきとります。



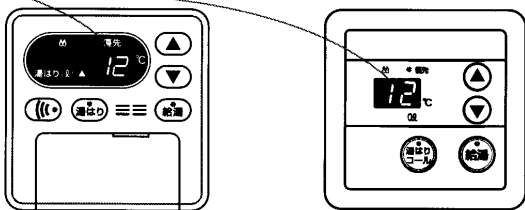
定期点検のおすすめ

機器のご使用に支障がなくても、2年に1度程度（使用頻度の高い場合には1年に2回程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検をするのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスにご相談ください。（有償）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。
給湯栓は開いたままにしておきます。
(リモコンを使用していない場合は、次ページをご参照ください。)

(例) エラーコード



エラーコードが表示されたら

- 1. 給湯栓を閉め、全てのリモコンを「切」にする。
5分程待ってから、再び、リモコンの「給湯」スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。
- 2. それでもなおエラーコードが表示される場合、
 - 下記以外のエラーコードが表示される場合は3へ
 - 下記のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの「給湯」スイッチを「切」にする。
下記の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は3へ
- 3. 給湯栓を閉め、リモコンを「切」にし、ガス栓、給水元栓を開めた後、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原 因	処 置
11 12	ガス栓の開きが不十分	●ガス栓を全開にする ●ガスメーターがガスを遮断していないか確認する
15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
16	水抜き後の再使用時の順番が違っている	24ページ「水抜き後の使いかた」参照
リモコンのみ表示 10 燃焼開始時に 「ビッ・ビッ・ビッ」 とブザーが鳴ります。	機器の給気口をふさいでいる	機器の給気口をふさいでいるものを取り除く
99	修理が必要ですのでお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまでご連絡ください。	

エラーコードは「11」「12」等の2桁の数字と「-0」「C2」等の記号が交互に表示されます。

エラーが表示されていない場合

エラーが表示されていない場合は、下記の症状に応じた処置を行ってください。

下記のことをお調べになってもなお不具合のある場合やおわかりにならない場合は、お買い上げの販売店かよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

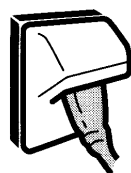
現象	原因と処置
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない ●給湯栓をしぼりすぎている（流量が少なくなると消火します。） ●凍結している ●給湯スイッチが「入」になっていない ●断水・停電しているまたは電源プラグが抜けている ●使い始めは給湯管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。
家中のお湯が出ない	●「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯が止まります。
途中で水になる	●給水元栓が十分開いていない ●停電している、または電源プラグが抜けている ●給湯栓をしぼりすぎている（流量が少なくなると消火します。）
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない ●給湯栓が全開になっている ●2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●混合栓を使用している場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。
低温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない ●給水元栓が十分開いていない ●2ヶ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●水温が高い夏期などに少量お湯を得ようとすると、湯温が高くなることがあります。給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。尚、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。）
排気口から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。
浴槽のお湯が少ない	●お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

① 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、
機器本体に電気が供給されている限り、機器内の凍結を予防でき
ます。
外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。



凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

おねがい

- 機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口ま
で保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- [※]気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処
置を行ってください。

※外気温が極端に低い日（マイナス20℃程度）やそれ以上の気温でも風のある日

② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

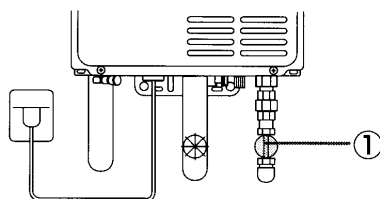
リモコンを「切」にしておいてください。

①ガス栓を閉めます。

②給湯栓を少し開けておきます。

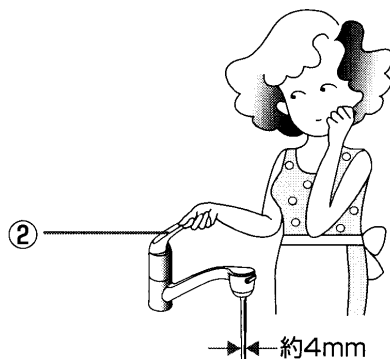
- ・流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してください。
- ・温度調整機能付の混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温
度の位置に設定してください。

※再使用時には必ず位置を元に戻してください。



おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

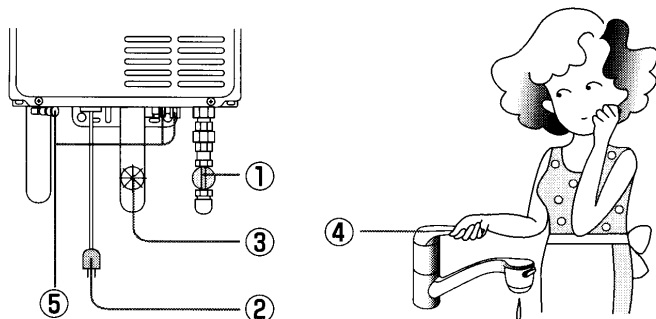


③ 機器内の水を抜く方法

リモコンを「切」にしておいてください。

- ①ガス栓を閉めます。
- ②電源プラグを抜きます。
- ③給水元栓を閉めます。（不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。）
- ④全ての給湯栓を開けます。
- ⑤水抜き栓をはずします。

再使用するまでこのままにしておきます。



⚠ 注意

水抜き作業は機器が冷えてから行なってください
→お湯の使用後は機器内のお湯が高温になっているためやけどのおそれがあります。

水抜き後の使いかた

- ①水抜き栓を閉めます。
- ②給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。
水が出ない場合は、電源プラグを差し込み、約30分後にもう一度②の操作を繰り返してください。
- ③10ページの「準備と確認」から始めます。

*再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

（わからないときは、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスにご相談ください。）

凍結したときは

- 凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
- 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
- 凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

仕 様

* 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品 名	133-P400型		
型式名	PH-16QLX(42)		
接続(給水・給湯)	給湯・給水：R1/2(15A)		
	ガス：別表「ガス接続」欄参照		
電源	消費電力：別表「消費電力」欄参照 使用電源：AC100V (50Hz/60Hz) 電源コード長さ：1.5m		
	凍結予防ヒータ…68W		
種類	給湯方式：先止め式 給排気方式：屋外用		
設置方式	屋外壁掛式 (PS設置可能)		
本体(器体)寸法	高さ520×幅350×奥行135mm		
質量(本体)	15kg		
点火方式	放電点火式		
給湯温度制御	比例制御		
最低作動水量	2.5L/分		
水圧	使用水圧：100～1000kPa 最低作動水圧：10kPa (0.1kg/cm ²)		
安全装置	フレームロッド式立消え安全装置・過熱防止装置 電流ヒューズ・過圧防止安全装置・凍結予防装置 (電気ヒータ)		
別売品	配管カバー (138-P500)・据置台 (138-P501)・排気カバー (138-P502)・ 台所リモコン (138-P001)・浴室リモコン (138-P003)・ 台所リモコン〈オート止水機能付き〉 (138-P002)・ 浴室リモコン〈オート止水機能付き〉 (138-P004)		

使用ガス (ガスグループ)	最大ガス消費量 kW (1時間当たり)	出湯量 (最大) ℓ/分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
		25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用 13A	33.5	(16.0)	10.0	7.2	39W	R1/2 (15A)

* 出湯量の () 内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

機器の水抜きを行ないます。（「凍結を防ぐには」参照）

アフターサービスについて

サービスを依頼 されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまでご連絡ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

1.ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）

(N)133-P400

2.品名・・・133-P400型

大阪ガス株式会社

（右上のようなラベルが機器の正面左下部に貼り付けてあります。）

3.現象・・・できるだけ詳しく（エラーコードをお知らせください。）

4.訪問ご希望日

転居される場合

ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認の上、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスにご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電気の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の 最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
- 補修用性能部品〈性能を維持するための必要な部品〉の最低保有期間は、製造打切後10年です。但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

